

平成26年8月 設立50周年 ごあいさつ

近畿海事広報協会会長 河村 元雄

【会長プロフィール】

昭和3年8月20日生まれ、85歳。東京大学法学部卒。
昭和29年住友倉庫入社、昭和62年社長、平成6年会長、
平成16年取締役相談役、平成17年相談役(現職)。
近畿海事広報協会では平成6年副会長、平成22年5月会長。



【設立50周年を迎えてのメッセージ】

設立50周年キャンペーンとして、各フェリー会社の協賛をいただき「夏休みは、フェリーで出かけよう！無料乗船券プレゼント！！」を青少年の海の教室の一環として実施します。また、「海フェスタ京都」が京都府舞鶴市を中心に京都府北部5市2町（福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）で開催され、私も第11回海フェスタ実行委員会副会長として参画し、近畿運輸局をはじめ関係機関のみなさんと連携し、中心的役割を果たす舞鶴市に協力・支援をさせていただき「海フェスタ京都」が盛会に開催されるよう努めています。

ご縁があるのか、私の誕生日は8月20日です。近畿海事広報協会の設立日と同じ日です。小学生のころに歌った「われは海の子白波の・・・」の歌詞を口ずさむとき、あの頃のきれいな、そして静かな海、浜辺が懐かしく思い出されます。昔のような海を望むことはできなくなったかもしれませんが、これからの若い世代の人たちにも、できるだけきれいな海を残していただきたいという思いが折に触れ広がります。昔ながらの「海に対するあこがれ」の気持ちを、心のどこかでいつまでも大事にしてほしいと願います。

【海事広報協会とは】

日本海事広報協会 昭和38年12月5日設立

四面を海に囲まれた海洋国日本の民生安定を図り、国力の充実を期するには海運、造船、港湾、水産等の海事産業の活動がきわめて重要です。これら基幹産業としての海事産業は、開放経済に対処してきびしい国際競争に耐えながら企業基盤の強化に一段と努力を重ねておりますが、今後さらに大きく発展するためには、海事関係者だけの力ではなしえないことであり、国民一般の深い理解と支援があつてはじめて達成されます。

このように国民経済上重要な海事産業であるにもかかわらず、一般国民の認識は遺憾ながら満足すべきものとはいえず、海事思想の普及のための努力が強く望まれ、全国的に強力な広報活動を実施する機関として設立されました。

次のページへ

近畿海事広報協会 昭和 39 年 8 月 20 日設立

海事広報活動の効果的運営をはかり、地域に即応した広報活動の徹底をはかるため、下記発起人により「社団法人」として設立されました。

- ・大阪倉庫協会会長
- ・大阪府モーターボート競走会理事長
- ・大阪港湾福利厚生協会理事長
- ・大阪港運協会会長
- ・大阪港振興協会副会長
- ・大阪船主会会長
- ・近畿旅客船協会会長
- ・近畿造船協議会会長

また、社会に貢献できるよう「公益社団法人」として内閣府の認定を受け、平成 24 年 4 月 1 日から「公益社団法人 近畿海事広報協会」として新たに発足しました。

【近況】

中学生対象の事業

「全国中学生海の絵画コンクール」は 51 回目

「中学生海の作文コンクール」も 48 回目

近畿各地の中学生から力強くしっかりした作品が応募され、子供たちの海に対する深い愛情が伝わってきます。絵画・作文ともに、海や港の未来に目を向けた素晴らしい作品が多く、うれしく思い、これからも子供たちの海に対するあこがれや希望を大事に育てていきたいと思っています。

小学生とご家族対象の事業

「青少年の海の教室」は、近畿運輸局との共催により開催しています。船舶を利用した港湾や沿岸環境の乗船ウォッチングと魚市場・くじらの博物館・造船所・冷蔵倉庫などの海事施設見学会として人気のある事業です。

一般市民対象の事業

「海の写真コンクール」は 36 回目となり、昨年は 1,600 点もの作品が応募されるなど市民の海に対する関心が高いことを感じています。

近畿運輸局と大阪海上保安監部の主催による「海事関係功労者表彰式典」と連携した「海の日祝賀会」も海事関係団体の協賛をいただき開催することができ、受賞者やご家族・一般参加者のみなさまと共に「海の日」を祝い、海からの恵みと、そこで仕事に精出す人々に感謝するとともに海事産業の重要性を再認識し、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着するよう海事広報を行うことができています。